

柱のⅣ 教育を支える健全で安全な社会環境づくり

重点施策 1 1 こどもが安全で健やかに過ごすことができる場の確保

重点施策 1 2 地域・家庭における教育力の向上と就学支援

重点施策 1 3 図書館機能の充実

重点施策 1 4 就学前教育の充実

No	事業内容(事業名)及び予算	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主管課等	今後の取組	担当	予算No
56	放課後遊びマップ作成事業 23 24 25 26 27	※25年度事業終了 1 事業終了 HP公開に併せて広く区民に周知し、こどもが安全で健やかに過ごすことができる場の確保に努める。	【取組】※25年度事業終了までの取組 1 放課後遊びマップの作成・周知 放課後支援課内に「放課後遊びマップ作成プロジェクトチーム」を設置し、マップを作成させた。 【実績等】 ・幼稚園、小中学校、児童館、学童クラブ、きっずクラブ、図書館等区が350箇所に掲示をし、併せて区HPにおいてマップを公表した。 【評価】 1 放課後遊びマップの作成・周知 児童館、公園、各種学習施設等、放課後に遊ぶことのできる場所の情報や、派出所・警察署を記載し、区の情報で地図上で一度に見ることができるようになった。	※25年度事業終了	放課後支援課	51.9
57	学校連絡網の整備 (学校安全対策事業) 23 24 25 26 27	1 一斉連絡システムの導入 26年4月にシステム改修を行い、学年繰上げによる、在校(同)生の保護者・教職員の、登録情報の再登録は、必要がなくなった。	【取組】 1 一斉連絡システムの導入 24年1月に区立小学校、7月に区立中学校・幼稚園、11月に放課後支援事業にメール・FAXによる一斉連絡システムを導入した。 【実績等】(27年3月末現在) ・登録利用者数:保護者 29,358登録 教職員等1,897登録 ・通信回数:小1,101回/中277回 幼152回 放328回 ・通信内容:学級閉鎖、学校行事中止に関する情報等 【評価】 1 一斉連絡システムの導入 迅速に連絡できる手段として、小学校・学童クラブ・きっずクラブの保護者の方や教職員にも好評である。	1 一斉連絡システムの導入 26年度に事業実施3年間の成果・評価を調査した上で、見直しを行った。 今後他区の動向や、より効果的なシステムの導入等に注視しつつ、28年度に再度、今後の方向性を検討する。	業務課	52.0
58	学童クラブの実施 (学童クラブ管理運営事業) 23 24 25 26 27	1 きっずクラブへの移行・開設 学童クラブ需要に対して、きっずクラブの全校開設を定めるとともに、学童クラブの適正配置を実施する。	【取組】 1 きっずクラブへの移行・開設 (1)桜川学童クラブがきっずクラブ桜川、亀崎学童クラブがきっずクラブ亀崎、大島五丁目学童クラブがきっずクラブ 三大に移行した。 (2)新たにきっずクラブを開設し、学童クラブ需要の収容対策等を行った。 【実績等】 ・きっずクラブ新規開設:5校 2 学童クラブの運営 東砂第二学童クラブ・北砂七丁目学童クラブ・豊洲学童クラブについては、入会希望者の減少により休室とした。また21年度より休室していた大島五丁目学童クラブについては入会申請がなかったため、23年度末に廃止とした。 【実績等】 ・計31箇所で開催 【評価】 1 きっずクラブへの移行・開設 学童クラブ需要の収容対策に努めた。	1 きっずクラブへの移行・開設 地域状況の変化や「江東きっずクラブ」の開設等に伴い、登録児童数が減少している学童クラブについては一定の基準を定め、休室や廃止を含めた対応を検討していく。	放課後支援課	65

No	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	予算 No
59	放課後子ども教室の実施 (放課後子ども教室事業) 23 24 25 26 27	1 きっずクラブへの移行 全小学校へのきっずクラブの展開に伴い、げんきっずは順次、きっずクラブに移行していく。	【取組】 1 げんきっず(放課後子ども教室)の実施 放課後や週末等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象に、遊びやスポーツ、文化活動等を実施した。 【実績等】 ・6校でげんきっず(放課後子ども教室)を実施 2 きっずクラブへの移行 26年度はげんきっず亀高がきっずクラブに移行した。 【評価】 1 げんきっず(放課後子ども教室)の実施 実施校では参加児童・保護者からの評価は高い。	1 きっずクラブへの移行 全小学校へのきっずクラブの展開に伴い、げんきっずは順次、きっずクラブに移行していく。	放課後支援課	66
60	ウィークエンドスクールの実施 (ウィークエンドスクール事業) 23 24 25 26 27	1 学校支援地域本部への展開 当事業を将来的に学校支援地域本部の展開にあわせて位置づけることを検討する。	【取組】 1 ウィークエンドスクールの実施 小学校を会場として、地域住民が主体となり、自然体験・社会体験・遊び等の講座を週末に開催。 【実績等】 ・12校で実施 【取組】 1 ウィークエンドスクールの実施 参加児童からの評価は高いが、運営する地域関係者からは事務作業等が煩雑であるとの意見がある。	1 学校支援地域本部への展開 当事業を将来的に学校支援地域本部の展開にあわせて位置づけることを検討する。	放課後支援課	67
61	江東こどもまつりの実施 (こどもまつり事業) 23 24 25 26 27	1 事業の充実 今後とも、関係団体及び地域の協力を得て、更なる事業内容の充実を図る。	【取組】 1 江東こどもまつりの実施 26年5月18日(日)に、都立猿江恩賜公園、ティアラこうとう、毛利小学校を会場として「第26回江東こどもまつり」を開催した。 【実績等】 ・参加者数:約125,000人 【評価】 1 江東こどもまつりの実施 岩手県北上市と雪で遊べるコーナーを共同開設し、新たな取り組みにより事業の充実を図った。	1 事業の充実 地域団体や、関係団体との連携強化、居住者の増加している臨海部の無料巡回バスルートの再検討など、更なる事業内容の充実を図っていく。	放課後支援課	68
62	PTA研修事業 (PTA研修事業) 23 24 25 26 27	1 各種研修会の実施 学校ごと、学校同士のPTA活動の一層の充実と活性化を図るため、支援を継続して実施していく。	【取組】 1 各種研修会の実施 区立小・中学校PTA連合会と共催し、基礎研修会・広報紙研修会・活動研修会を実施している。 【実績等】 ・各研修会参加者数:545名 【評価】 1 各種研修会の実施 学校規模や地域事情によりPTA活動は多様だが、情報共有することで各校の活動の活性化につながっている。	1 各種研修会の実施 小、中学校PTA連合会、幼稚園PTA連合会と協働し、研修会を通じて保護者の学びと交流を促進する。 2 小中学校PTA連合会の運営支援 各種スポーツ大会等事業を支援し、PTAの活性化を図る。	庶務課	69
63	訪問型家庭教育支援事業 (家庭教育学級事業) 23 24 25 26 27	1 家庭教育支援の継続 保護者の家庭教育支援のため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 家庭教育支援を目指した出前講座の実施 26年度は、中学生の保護者を対象に、「命について考える講座」を開催。 【実績等】 ・参加者数:18名(中学校1校) 【評価】 1 家庭教育支援を目指した講座の実施 基礎的な生活習慣の形成につながる講座を開催し、家庭教育支援の役割を果たすことができた。	1 家庭教育支援の継続 中学校での開催に向け、テーマ、内容、周知方法について、引き続きPTAと協議して実施する。	庶務課	新21

No.	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主管課評価	今後の展開	担当	予算 No.
64	家庭教育の支援、PTAの自主企画による家庭教育学級の実施 (家庭教育学級事業)	1 家庭教育学級の支援 家庭、地域の教育力の向上を目指し今後も支援を継続する。	【取組】 1 地区家庭教育学級の実施 こどもの成長についての基礎的な理解や親の役割などについて学ぶ機会を提供する地区家庭教育学級を実施。 【実績等】 ・参加者数:1,453名 区立幼稚園4園、小学校2校 私立幼稚園1園、保育園7園、 社会教育関係登録団体1団体 計15か所 【評価】 1 地区家庭教育学級の実施 開催希望園等が増加し、講座内容を精査することによって、質の向上を図ることができた。	1 家庭教育学級の支援 家庭教育学級の講座内容の充実を図るため、情報の提供等を継続して実施していく。	庶務課	70
	23 24 25 26 27					
65	経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に援助 (就学援助)	1 就学困難な児童・生徒への就学援助の継続 経済的理由で就学困難な児童・生徒の就学を確保するため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 就学困難な児童・生徒への就学援助 経済的理由で就学困難な児童・生徒の保護者に対し、通学に伴い生じる学用品、通学用品費、給食費等を支給し、就学の援助を行っている。 【実績等】 ・就学援助認定者 小学校 4,969人(認定率22.8%) 中学校 2,968人(認定率38.7%) 【評価】 1 就学困難な児童・生徒への就学援助 経済的理由で就学困難な児童・生徒に対し、継続実施することにより、就学の確保に努めている。	1 就学困難な児童・生徒への就学援助の継続 経済的理由で就学困難な児童・生徒の就学を確保するため、今後も継続して実施する。	学務課	71
	23 24 25 26 27					
66	保護者に対する補助 (私立幼稚園等園児の保護者に対する補助金)	1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減の継続 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施する。	【取組】 1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得に応じて入園料・保育料に対して補助を行った。 【評価】 1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減 入園料・保育料の補助を行うことにより保護者の経済的負担を軽減する目的を達成した。	1 私立幼稚園等園児の保護者に対する経済的負担軽減の継続 私立幼稚園等に就園する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施する。	学務課	72
	23 24 25 26 27					
67	小学生によるこどもとしょかん運営事業 (こども読書活動推進事業)	1 他の活動との交流 学校司書の取組が定着してきたので、更に連携して児童の利用を促進し、活発な交流を生み出していく。 2 事業の情報発信 児童や授業での利用の成果を掲示する等、モデル事業としての情報発信が課題である。	【取組】 1 他の活動との交流 (1)学校図書館との仕切り扉を開く「赤い扉開放」事業を実施。昼休み開放時にはPTAが、授業時間の開放時には学校司書が立ち会等、児童の安全利用を見守ってくれた。 (2)11月に学校図書委員(5・6年生)に対し読み聞かせ指導を実施した。 【実績等】 ・「赤い扉開放」事業:131回実施 延べ3,043人参加 【評価】 1 事業開始に向けた取組 間仕切り扉を開放しての図書館活用が習慣化してきている。 2 他の活動との交流 (1)PTAや学校司書が児童の安全利用に協力してくれたり、調べ学習授業に活用されるなど徐々に関係を深めることができた。 (2)児童が貸出業務や書架整頓に従事するスタッフと触れ合うことで図書館の機能に興味を持つとともに、一般来館者である赤ちゃん連れの親子や高齢者等幅広い年齢層の利用者と本の利用を仲立ちとして暖かな交流も生まれている。	1 他の活動との交流 学校司書の取組が定着してきたので、更に連携して児童の利用を促進し、活発な交流を生み出していく。 2 事業の情報発信 児童や授業での利用の成果を掲示する等、モデル事業としての情報発信が課題である。	江東図書館	新23
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主要課題等	今後の取組	担当	ページ
68	学校図書委員交流事業 (こども読書活動推進事業)	1 交流事業の推進 学校行事との調整等の課題から、年度当初に校同長会等で午間予定をアウンスする他、司書教諭や学校司書との連絡調整を密に取り組んでいく。	【取組】 1 学校との交流 学校との交流事業として、秋の読書週間企画で、「おすすめする本」の募集を行った。 【実績等】 ・参加校:計38校 小学校30校 (児童からのおすすめ本343冊) 中学校8校 (生徒からのおすすめ本70冊) (先生からのおすすめ本2校6冊) 2 学校図書委員との交流 学校図書委員交流として、中学校1校の図書委員が最寄の図書館を見学した。 【実績等】 ・白川中学校:免川図書館 【評価】 1 学校との交流 交流事業では、今年度は、事前の意向調査を廃止する等応募し易いように手続きを簡素化した結果、小学校、中学校共に参加校が増加した。また、学校行事との兼ね合いで変動がある。 2 学校図書委員との交流 交流事業では、昨年度に続き中学校の図書委員の見学があった。	1 交流事業の推進 学校行事との調整等の課題から、年度当初に校同長会等で午間予定をアウンスする他、司書教諭や学校司書との連絡調整に取り組んでいく。	江東図書館	頁24
	23 24 25 26 27					
69	区立図書館と学校図書館のネットワーク事業 (こども読書活動推進事業)	1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 学校図書館のシステム化を待ちつつ、連携検索システム等の検討を進める。	【取組】 1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 システムリプレイスに向け新システム構築委託業者選定において、システム要件の一つとした。 【評価】 1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 新システム選定において、将来、学校図書館との連携可能な機能が搭載された最新型図書館パッケージシステムを導入した。	1 区立図書館と学校図書館とのネットワーク整備に向けた準備 学校図書館のシステム化を待ちつつ、連携検索システム等の検討を進める。	江東図書館	頁25
	23 24 25 26 27					
70	こども読書コンクール (こども読書活動推進事業)	1 関連部署との調整 学校や関連部署等の調整の検討をすすめる。	【取組】 1 事業化に向けた検討 24年度、取り組み方について検討を行った。以降検討を継続中。 【評価】 1 事業化に向けた検討 実施の検討に合わせ関係部署と調整していく。	1 関連部署との調整 学校や関連部署等の調整の検討を進める。	江東図書館	頁26
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主要課題等	今後の展望	担当	ページ
71	図書館の改修・改築による図書館サービスの充実 (区立館改修・改築事業)	1 江東図書館のリニューアルオープン・サービス拡充 江東図書館のリニューアルオープンを完遂する。こども室とティーンズ(高校)コーナーのサービスの拡充に取り組む。 2 砂町図書館休館等の調整・リニューアルオープンの準備 休館・工事完工に伴う調整とリニューアルオープンの準備を行う。 3 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進める。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進める。	【取組】 1 砂町図書館リニューアルオープン 改修工事が完了した。こどもルームの機能向上、ビジネスルームの新設、閲覧室の機能向上・利用のセルフ機能等を追加した。 2 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進めた。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進めた。 【評価】 1 砂町図書館リニューアルオープン リニューアルに伴い、こどもルーム機能向上・ビジネスルームの新設等サービスの拡充が進んだ。リニューアルオープンの準備を着実に進めている。 2 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を着実に進めている。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進めている。	1 新豊洲図書館オープン準備・事業計画の検討 オープンに向け準備を進める。特に重点課題である若い子育て世代向けの事業計画の検討を進める。	江東図書館	73
	23 24 25 26 27					
72	オンラインネットワークによる図書館サービスの充実 (区立館管理運営事業)	1 システムに関する課題解決の検討 旧システムでの課題解決・利用環境向上に合わせて、他機関のデータベースとのネットワークの検討が必要である。 2 ネットワークサービスの向上 全館にインターネットパソコンを設置する計画である。データベース利用環境の向上にも取り組んでいる。	【取組】 1 システムに関する課題解決の検討 システム業者との打ち合わせ会として状態管理票を基に毎月定例会を開催している。 2 ネットワークサービスの向上 全館(枝川サービスコーナーを除く)で、提供できるオンラインデータベースとしてWEBLINK地方公共団体総覧を導入した。 【評価】 1 システムに関する課題解決の検討 新システムの不具合等が着実に改善されるようシステム業者と連絡調整を円滑に実施していく必要がある。 2 ネットワークサービスの向上 枝川図書館サービスコーナー以外の全館で、提供できるオンラインデータベースとしてWEBLINK地方公共団体総覧を導入したことにより、検索手段が充実してきた。引き続き枝川図書館サービスコーナーを除く全館に提供できるデータベースについて、調査検討する必要がある。	1 システムに関する課題解決の検討 新システムでの不具合等の課題解決のための検討が必要である。 2 ネットワークサービスの向上 データベース利用環境の向上に取り組んでいく。	江東図書館	74
	23 24 25 26 27					

No.	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主管観評価	今後の展開	担当	予算 No.
73	障害者や高齢者への資料提供 (障害者・高齢者等読書支援事業) 23 24 25 26 27	1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音機器等の環境整備に取り組む。 (2)利用対象拡大に向け、活字資料を利用できないすべての方に利用いただける要綱等を整備する。 2 高齢者の利用環境充実 来館できない高齢者の利用環境整備に向けて検討を行う。	【取組】 1 録音資料の更なる充実 (1)機器の環境整備によって音訳者の利便性を図る。また、デジタル録音機器を使用して、録音資料を作成できる音訳者を養成するための講座を実施した(5年目) 【実績等】 ・音訳者養成講座(前期)延231名 ・音訳者養成講座(上級デジタル録音講習)・応用2回延べ14名 ・フォロー2回 24名 ・音訳者養成講座(上級)2回延べ67名 【評価】 1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音のできる音訳者数の増加により、これまでのカセットテープ主体の録音資料作成からデジタル録音資料作成への移行を進めることができた。 (2)要綱整備を行ったことで、視覚障害者以外の識字が困難な方への録音図書の出貸が可能となった。 2 高齢者の利用環境充実 引き続き検討していく必要がある。	1 録音資料の更なる充実 (1)デジタル録音機器等の環境整備に引き続き取り組む。併せて、環境維持方法についても検討する。 (2)資料提供には、音訳者の技術向上はかせないため音訳者養成講座の内容充実を図る。 (3)利用対象拡大を受け、活字資料を利用できないすべての方に資料を届ける適切な方法を検討する。 2 高齢者の利用環境充実 (1)来館できない高齢者の利用環境整備に向けて引き続き検討を行う。 (2)高齢者施設と連携して、団体貸出等利用方法を検討する。	江東図書館	75
74	歴史的貴重資料の調査・保存・提供 (貴重資料保存管理事業) 23 24 25 26 27	1 劣化防止対策の計画的実施 資料の劣化防止(脱酸性化処理)は、継続して取り組んでいく必要があるため、計画事業として取り組んでいく。 2 貴重資料デジタル化・提供事業に関する長期的計画の作成 専門チームを立ち上げて図書館計画修繕等と合わせて利用環境を整備する等、長期的な計画を作成して取り組んでいく。	【取組】 1 劣化防止対策 貴重資料の調査結果に基づき修理製本等の劣化防止対策を継続して行った。 2 デジタル化資料提供方法等の検討 デジタル化した資料の活用や公開事業について検討した。 【評価】 1 劣化防止対策 製本の枠内での劣化防止にとどまっておらず、脱酸性化処理について引き続き検討していく必要がある。 2 貴重資料の保存管理等の検討 (1)24年度に検討チームを立ち上げたが、検討途中となっている。 (2)資料の修理製本の際、あわせてデジタル化を行うなど、提供のための準備を進めたが、保存管理等については、チームで引き続き検討して行きたい。	1 劣化防止対策の計画的実施 資料の劣化防止(脱酸性化処理)は、継続して取り組んでいく必要があるため、計画事業として取り組んでいく。 2 貴重資料デジタル化・提供事業に関する長期的計画の作成 図書館計画修繕等と合わせて利用環境を整備する等、長期的な計画を作成して取り組んでいく。	江東図書館	76
75	学童疎開資料室の運営 (学童疎開資料室運営事業) 23 24 25 26 27	1 江東図書館リニューアルに伴う展示の見直し 江東図書館リニューアルオープンにむけた新たな展示室に合わせたディスプレイ等の練り直しが必要となる。 2 各関係者との協力体制の検討 幅広い関係者との協力体制についても検討が必要である。 3 資料保存等に関する専門家との連携 江東区の教育史を物語る貴重な資料だが、経年劣化が進んでいる。保存等に創意工夫が必要だが、文化財的な専門知識・技能が不足している。専門家の助言を求めたい。	【取組】 1 各関係者との協力体制の検討 区内在住の学童疎開体験者との協力体制を維持していく。 2 資料保存等に関する専門家との連携 専門家との連携について、引き続き検討していく。 3 展示の見直し 資料の展示方法について検討を始動した。 【評価】 1 各関係者との協力体制の検討 区内在住の学童疎開体験者との協力体制を引き続き維持していく。 2 資料保存等に関する専門家との連携 専門家との連携について、引き続き検討していく。 3 展示の見直し 資料の有効活用(製本・現代語訳等)を図り児童にも理解できるよう展示を見直し検討していく必要がある。	1 各関係者との協力体制の検討 幅広い関係者との協力体制についても検討が必要である。 2 資料保存等に関する専門家との連携 江東区の教育史を物語る貴重な資料だが、経年劣化が進んでいる。保存等に創意工夫が必要だが、文化財的な専門知識・技能が不足している。専門家の助言を求めたい。 3 資料室の展示の充実を検討 江東区の平和教育の一端を担うべく、資料の有効利用(製本・パネル作成・現代語訳等)を図り、こどもでも理解できる資料室を目指す。	江東図書館	77

No	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主要課題等	今後の取組	担当	ページ
76	ボランティアと連携した読み聞かせ事業の推進 (図書館派遣連携事業)	1 他の事業との連携検討 ボランティアセンターでの読み聞かせや朗読ボランティア養成事業との棲み分けや連携協力の検討を進める。 2 読書環境サポーターへのレベルアップ・養成 図書館では、館外の学校や子育て支援施設等に出張して、おはなし会や図書館利用ガイドも行う自立した読書環境サポーターへのレベルアップ・養成に重点を置いた事業を進める。	【取組】 1 ボランティアの養成 読み聞かせボランティアから「こどもの読書環境サポーター」へのレベルアップに向けた養成講座を行い、職員が伴わずに館外での出張おはなし会を実施する等、自主的な活動が可能な人材育成に取り組んだ。 【実績等】 ・レベルアップ講習会1回及び説明会・交流会3回実施 ・読み聞かせ隊「登録者:54名 出張おはなし会派遣実績:289回」延べ578名 【評価】 1 ボランティアの養成 (1)読み聞かせボランティア養成事業について、ボランティアセンターでの朗読ボランティア養成事業との連携調整の可能性について検討を行った。 (2)活動環境の整備や活動を支援する仕組みを更に検討していく。	1 他の事業との連携検討 ボランティアセンターでの読み聞かせや朗読ボランティア養成事業との棲み分けや連携協力の検討を進める。 2 読書環境サポーターへのレベルアップ・養成 図書館では、館外の学校や子育て支援施設等に出張して、おはなし会や図書館利用ガイドも行う自立した読書環境サポーターへのレベルアップ・養成に重点を置いた事業を進める。	江東図書館	79
	23 24 25 26 27					
77	乳幼児の親子の読書支援事業 (乳幼児読書支援事業)	1 ブックリストの充実・周知の工夫 ブックリストは子育てをスタートした若い親たちに活用されやすいように、レイアウトや編集に工夫をしていく。区内の乳幼児親子が集まる施設に積極的に配布する。 2 保健相談所での読み聞かせ事業の拡充 読書環境サポーターの養成事業がスタートしたため、図書館職員が伴わない出張が可能となった。休館日開催事業等、保健相談所の多様なプログラムに対応していく。 3 赤ちゃんおはなし会の拡大 ニーズが高い地域館を中心に拡大していく。	【取組】 1 ブックリストの編集・発行 ブックリスト「赤ちゃん」と小さい子のほんだな」はページを拡充「読書メモ」を設け、読書記録をつけられるようにした。カラー版、レイアウトにも工夫を加えて編集・発行。図書館や保健相談所、保育園、幼稚園等で配布。 2 保健相談所乳幼児健診読み聞かせ 区内4ヶ所の保健相談所の乳幼児健診時に、読み聞かせボランティアを伴って出張赤ちゃんおはなし会を実施した。 3 館内実施の赤ちゃんおはなし会 館内での定例おはなし会の他に、乳幼児親子を対象に「赤ちゃんおはなし会」を実施した。 【実績等】 1 ブックリストの編集・発行 ・配布部数:14,000部 ・配布施設:子育て支援施設等309ヶ所 2 保健相談所乳幼児健診読み聞かせ ・217回 参加者 10,950人 3 館内実施の赤ちゃんおはなし会 ・267回 参加者 7,447人 【評価】 1 赤ちゃんおはなし会の拡大 館内での赤ちゃんおはなし会は盛況である。開催回数を増やしてニーズに対応した館もあった。来館参加ができない乳幼児のために、各子育て支援施設等への出張型の赤ちゃんおはなし会にも取り組んでいく必要がある。	1 ブックリストの充実・周知の工夫 ブックリストは子育てをスタートした若い親たちに活用されやすいように、レイアウトや編集に工夫をしていく。区内の乳幼児親子が集まる施設に積極的に配布する。 2 保健相談所での読み聞かせ事業の拡充 読書環境サポーターの養成事業がスタートしたため、図書館職員が伴わない出張が可能となった。休館日開催事業等、保健相談所の多様なプログラムに対応していく。 3 赤ちゃんおはなし会の拡大 ニーズが高い地域館を中心に拡大していく。	江東図書館	80
	23 24 25 26 27					
78	学校図書館との連携及び地域ボランティアの活動支援 (学校図書館連携事業)	1 地域ボランティアの活用の検討 小学校に学校司書が配置された事により、校内で活動するボランティアの役割も変化してきている。10年近い活動実績の中で高い修理技術も習得している人材の活用について、学校や幼稚園の要望を調査し、PTA活動への技術指導の可能性などを探っていく。	【取組】 1 地域ボランティアの活動支援 (1)小学校や幼稚園の蔵書の修理を熱心に取り組む「こどもの本の修理人(ボランティア)」へ技術指導用等の修理道具の貸出用意。 【評価】 1 地域ボランティアの活動支援 「こどもの本の修理人」は、文部科学省の社会教育活性化モデル事業の受託で生み出されたグループで、区内の小学校を拠点に自主的に活動を続けてきている。	1 地域ボランティアの活用の検討 小学校に学校司書が配置された事により、校内で活動するボランティアの役割も変化してきている。10年近い活動実績の中で高い修理技術も習得している人材の活用について、学校や幼稚園の要望を調査し、PTA活動への技術指導の可能性などを探っていく。	江東図書館	81
	23 24 25 26 27					

No	事業内容(事業名)及び予定	26年度以降の取組予定	26年度の取組・主管観評価	今後の展開	担当	予算No
79	児童資料の充実 (図書館読書推進事業) 23 24 25 26 27	1 児童書の更なる充実 新鮮で魅力的な蔵書を備える事で、こどもたちの読書意欲を触発し応えるを基本姿勢とし、計画的に取り組んでいく。	【取組】 1 児童書の更なる充実 こども読書活動推進施策の重点課題として、各館で児童書の刷新や補充に取り組んだ。 【実績等】 ・27年3月31日現在の蔵書数に占める児童書の割合:22.0% 【評価】 1 児童書の更なる充実 こども読書活動推進施策の重点課題として各館で児童書の刷新や補充に取り組んでいるが、目標値とする蔵書数に占める児童書の割合についての見直し検討が必要である。	1 児童書の更なる充実 目標値とする蔵書数に占める児童書の割合について、見直し検討したうえで新鮮で魅力的な蔵書を備える事で、こどもたちの読書意欲を触発し応えるを基本姿勢とし、計画的に取り組んでいく。	江東図書館	82
80	子育て支援施設・放課後支援施設等の読書環境の充実 (こども読書環境整備事業) 23 24 25 26 27	1 団体貸出セット提供システムの効率的な運用 本選びに来館することなくFAXで利用申し込みを可能にした事で、小学校・幼稚園・保育園等の公立施設から民設民営の認証保育所等に利用が拡大しているため、利用施設の増加に伴った貸出セットの整備、また配本・回収の効率的システム作り等に取り組んでいく。	【取組】 1 団体貸出セットの活用 区内全域の小学校及び子育て関連施設に対し、24年度に整備した「団体貸出セット」の活用を図った。 【実績等】 ・団体貸出セット提供事業 数量:123セット 5,074冊 (調べ学習セット67セット、絵本セット56セット) 提供実績:144回 延べ6,173冊 ・貸出実績状況を元に、児童検討会で、新たに4テーマを追加し、既存セット拡充と合わせて763冊補充した。 【評価】 1 団体貸出セットの活用 (1)セット本の拡充と学校司書や子育て関連施設担当者との連携を深め、利用増を図っていく。 (2)貸出の少ないセットは、解体し、通常の書架に並べ活用を図る必要がある。 (3)テーマ及びセット内容を見直しながら、広く利用につなげていく。	1 団体貸出セット提供システムの効率的な運用 本選びに来館することなくFAXで利用申し込みを可能にした事で、小学校・幼稚園・保育園等の公立施設から民設民営の認証保育所等に利用が拡大しているため、利用施設の増加に伴った貸出セットの整備、また配本・回収の効率的システム作り等に取り組んでいく。	江東図書館	83
81	認定こども園の整備 (認定こども園整備事業) 23 24 25 26 27	1 認定こども園開園	【取組】 1 認定こども園の整備 設置・運営事業者の公募を行い、事業者を決定するとともに開園に向けての準備を行った。 【評価】 1 認定こども園開園 平成27年4月 豊洲めぐみこども園開園	平成26年度事業終了	学務課	84
82	親子登園・預かり保育 (幼稚園地域幼児教育センター事業) 23 24 25 26 27	1 親子登園・預かり保育の継続 未就園児の保護者のニーズや在園児の預かり保育へのニーズが引き続き見込まれることから、今後も継続して実施していく。	【取組】 1 親子登園・預かり保育の実施 幼稚園の地域幼児教育センターの役割として、未就園児とその保護者を対象とする親子登園や、在園児を対象と預かり保育を行った。 【評価】 1 親子登園・預かり保育の実施 親子登園の参加者数は増えており、事業として認知・定着している。	1 親子登園・預かり保育の継続 未就園児の保護者のニーズや在園児の預かり保育へのニーズが引き続き見込まれることから、今後も継続して実施していく。	学務課	85

(4) 「教育推進プラン・江東」策定後の新規事業・レベルアップ事業等

No.	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	プラン No.
〔24年度 新規事業・レベルアップ事業〕					
1	24	学校支援地域本部事業 (学校支援地域本部事業)	【取組】 地域住民が学校の教育活動を支援するための組織に対する助成。 【実績等】 24年度より、新たに2校で実施。	学校支援課	主 20 ・ 43 ・ 60
2	24	確かな学力強化事業 (確かな学力強化事業)	【取組】 きめ細かな指導をするための講師等の配置。 学力強化講師： 小学校4年生、中学校1年生の全学級及び中学2・3年生の希望する学級 理科支援員： 小学校5・6年生 少人数学習講師： 小学校1・2年生の1学級あたりの児童数が31人以上となる学校の学級 【実績等】 24年度より、少人数学習講師の配置を小学校1年生から1・2年生に拡大。	学校支援課	重 1 ・ 4 ・ 5
3	24	学校力向上事業 (学校力向上事業)	【取組】 江東区の学習に関する指導目標を作成し、全ての教員と児童生徒の家庭へ周知。 教員養成系の大学と提携し、教授と学生により編成されたチームを学校に派遣し、学校と大学チームによる校内OJTを実施。 【実績等】 24年度 新規事業	指導室	無
4	24	教育相談事業 (教育相談事業)	【取組】 教育相談員及びスクールカウンセラーによる学習、しつけ、いじめ、不登校等の相談。 スクールカウンセラーを全小学校に週1回派遣。 【実績等】 24年度より、児童数300人以上の学校への派遣時間を4時間から8時間に拡大。	教育センター	主 33 ・ 38 ・ 39 ・
5	24	放課後子どもプラン事業 (放課後子どもプラン事業)	【取組】 放課後等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象とした遊びやスポーツ、文化活動等を実施。 放課後子ども教室と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きっずクラブ」の運営。 【実績等】 実施校数: 直営7校、公設民営9校 24年度は、新たに5校で「江東きっずクラブ」を開設。	放課後支援課	重 27
6	24	児童館管理運営事業 (児童館管理運営事業)	【取組】 児童館の施設管理。 【実績等】 区立児童館: 15館 公設民営児童館: 3館 24年度より、江東きっずクラブの土曜日実施を8館から10館に拡大。	放課後支援課	主 53
7	24	学童クラブ管理運営事業 (学童クラブ管理運営事業)	【取組】 学童クラブの管理運営。 【実績等】 区立学童クラブ: 26クラブ 受入: 1,523人 公設民営学童クラブ: 13クラブ 受入: 684人 24年度は、浅間堅川学童クラブ体育室に冷房設備を設置。	放課後支援課	主 58
8	24	私立学童クラブ補助事業 (私立学童クラブ補助事業)	【取組】 私立学童クラブに対する運営補助。 【実績等】 24年度: 4クラブ 登録児童数(1～3年生): 127人 24年度より、運営補助の障害児加算を充実。	放課後支援課	無

No.	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
9	24	豊洲児童館改修事業 (豊洲児童館改修事業)	【取組】 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 【実績等】 24年度 新規事業	放課後支援課	無
10	24	南砂児童館耐震補強事業 (南砂児童館耐震補強事業)	【取組】 耐震補強工事及び施設の改修。 21年度 実施設計 24年度 耐震補強工事 26年度 改修工事 総事業費:8,163万4,000円 【実績等】 24年度 新規事業	放課後支援課	無
11	24	大島四丁目学童クラブ改修事業 他1件 (大島四丁目学童クラブ改修事業 他1件)	【取組】 1 大島四丁目学童クラブ改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 2 東砂第三学童クラブ改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 【実績等】 24年度 新規事業	放課後支援課	無
12	24	小学校校務情報通信環境管理事業 (小学校校務情報通信環境管理事業)	【取組】 教育インフラの強化、校務の効率化を目的に整備した校務情報通信環境の管理。 教員用パソコンの管理及び設置、インターネットへの接続等を実施。 24年度は、成績処理機能を追加。	学務課	主4
13	24	学校施設の改築・改修事業	【取組】 1 第二亀戸小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、幼稚園の改築:基本設計 竣工:27年度 2 第二亀戸中学校改築事業 老朽化による校舎の改築工事 竣工:25年度 3 小学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計3校 扇橋小学校、浅間堅川小学校、第四砂町小学校 (2)工事2校 東砂小学校、平久小学校、平久幼稚園 4 中学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計2校 大島中学校、第二砂町中学校 5 幼稚園大規模改修事業 老朽化による園舎等の大規模改修 (1)設計1園 第五砂町幼稚園 (2)工事1園 東砂幼稚園	学校施設課	重24
14	24	収容対策に向けた学校の施設整備事業 (豊洲北小学校増築事業 他3件)	【取組】 1 児童数増加による教室不足解消のための仮設校舎の借上げ (1)設計 3校 豊洲北小学校、第二辰巳小学校、浅間堅川小学校 (2)工事 1校 豊洲小学校	学校施設課 学務課	重25
15	24	中学校校務情報通信環境管理事業 (中学校校務情報通信環境管理事業)	【取組】 教育インフラの強化、校務の効率化を目的に整備した校務情報通信環境の管理。 教員用パソコンの管理及び設置、インターネットへの接続等を実施。 【実績等】 24年度は、成績処理機能を追加。	学務課	主4
16	24	幼稚園保育室冷房化事業 (幼稚園保育室冷房化事業)	【取組】 夏季期間の保育環境を良好に保つための保育室冷房化工事の設計。 【実績等】 改築・改修工事予定を除く17園。	学校施設課	無

No.	年度	事業内容(事業名)及び予算	取組内容	担当	プラン 心
〔25年度 新規事業・レベルアップ事業〕					
17	25	学校安全対策事業 (学校安全対策事業)	【取組】 1 防犯ブザーの無償配布〔16年度導入〕 16年度より登下校時の児童・生徒を犯罪から守るため、区内在住の小学校1年生を対象に防犯ブザーを無償配布している。 【実績等】 25年度防犯ブザー配布個数:5,042個 2 学校安全カルテの作成〔18年度導入〕 18年度より警備保衛会社へ区立全小中学校の詳細点検を依頼し、調査結果をカルテにまとめている。各校は調査結果をもとに防犯カメラの位置を定める等、防犯対策に活用している。 【実績等】 区立全小中学校において作成済。 また、新築・増築・改築時には学校安全カルテを新たに作成する。 3 防犯カメラの設置〔18年度導入〕 18年度に学校等への侵入の予防を目的として、区立全小中学校及び幼稚園へ防犯カメラの設置を行った。 【実績等】 全校(園)において設置済。 設置台数は、1校あたり4台(併設校・園は6台)、幼稚園は3台である。 4 電気錠及びカメラ付きインターホンの設置〔19年度導入〕 19年度に犯罪の抑止効果及び学校関係者以外の侵入防止を目的として、区立小中学校及び幼稚園へ電気錠及びカメラ付きインターホンの設置を行った。 【実績等】 全校(園)において設置済。 5 緊急通信放送システム(トランシーバー)の配備〔20年度導入〕 20年度に緊急時における校内の連絡体制の確立を目的として、トランシーバーを配備した。 【実績等】 全校(園)において全教員及び事務室・主事室分を配備済。 6 緊急時一斉連絡システムの導入〔23年度導入〕 24年1月に区立小学校、7月に区立中学校・幼稚園、11月に放課後支援事業にメール・FAXによる一斉連絡システムを導入した。 【実績等】(26年3月末現在) ・登録利用者数:保護者 29,323登録 教職員等1,387登録 ・配信回数:小820回/中191回 幼140回 放188回 ・配信内容:学級閉鎖、学校行事中止に関する情報等 7 通学路の緊急合同点検〔24年度実施〕 24年度、関係機関(道路管理者、交通管理者、区)の協力により緊急合同点検等を実施した。 【実績等】 ・点検結果 学校抽点危険箇所数 206箇所 ・関係機関へ対策実施を求める要望書提出 ・区HPにおいて点検結果を公表 8 帰宅困難者用(児童・生徒・園児)備蓄物資の配備〔25年度配備〕 25年度に東京都帰宅困難者対策条例の施行に伴い、災害発生時に、保護者等の引き取りが必要な児童・生徒・園児を一時的に保護し、安全を確保するため、食糧・水等の備蓄物資を整備した。 【実績等】 ■水・アルファ化米・クラッカー・毛布の整備 小中学校:全児童・生徒の3日の3日分 幼稚園:全園児の1食分等	庶務課	主57
18	25	教育委員会広報事業 (教育委員会広報事業)	【取組】 1 教育広報紙の発行 児童・生徒、保護者だけでなく、広く区民に周知することにより、教育行政への一層の理解を図ることを目的とする。 教育委員会の各種施策、学校での児童・生徒の様子や、図書館、放課後子ども教室、児童館・児童会館の活動等に関する情報を発信する。 【実績等】 ・「こどうの教育」発行 年2回。発行部数を24年度の1戸当たり3万6千部から、25年度、約27万部へ増殖し、規格についてもA4版8ページをタブロイド版4ページ(1・4面カラー)に変更した。 ・25年度より全戸配布を実施	庶務課	主17

No.	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
19	25	研究協力校運営事業 (研究協力校運営事業)	【取組】 希望する小中学校及び幼稚園に対して、教育課題研究及び成果発表の支援。 【実績等】 研究協力校:小中学校17校、幼稚園3園(単年度校10校園を含む) 25年度は、研究指定校以外の全小中学校で公開研究授業を実施。	指導室	重 12・ 14
20	25	スクールカウンセラー派遣事業 (スクールカウンセラー派遣事業)	【取組】 スクールカウンセラーを全小学校に派遣し、いじめ、不登校の相談や教員等への助言。 【実績等】 25年度 新規事業 派遣回数:週1回 8時間 なお、教育相談事業から組替えのうえ、各校への派遣時間を拡大。	指導室	無
21	25	放課後子どもプラン事業 (放課後子どもプラン事業)	【取組】 放課後等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象とした遊びやスポーツ、文化活動等を実施。 放課後子ども教室と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きつずクラブ」の運営。 【実績等】 実施校数:直営8校、公設民営13校 25年度は、新たに5校で「江東きつずクラブ」を開設。	放課後支援課	重 27
22	25	学童クラブ管理運営事業 (学童クラブ管理運営事業)	【取組】 学童クラブの管理運営。 【実績等】 区立学童クラブ:22クラブ 受入:1,374人 公設民営学童クラブ:12クラブ 受入:698人 25年度は、都の帰宅困難者対策条例の施行に伴い、備蓄物資を整備。	放課後支援課	主 58
23	25	東雲児童館改修事業 他1件 (東雲児童館改修事業 他1件)	【取組】 1 東雲児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 22年度 実施設計 25年度 工事 総事業費:1億558万3,000円 2 亀戸児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 【実績等】 25年度 新規事業	放課後支援課	主 24
24	25	学校施設の改築・改修事業 (有明小学校増築事業 他1件)	【取組】 1 第二亀戸小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、幼稚園の改築:実施設計 竣工:27年度 2 第二亀戸中学校改築事業 老朽化による校舎の改築工事 竣工:25年度 3 小学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計1校 第七砂町小学校 (2)工事3校 扇橋小学校、浅間堅川小学校、第四砂町小学校 4 中学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)工事2校 大島中学校、第二砂町中学校 5 幼稚園大規模改修事業 老朽化による園舎等の大規模改修 (1)設計1園 みどり幼稚園 (2)工事1園 第五砂町幼稚園	学校施設課	重 25

No.	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
25	25	収容対策に向けた学校の施設整備事業 (豊洲北小学校増築事業 他4件)	【取組】 1 児童数増加による教室不足解消のため、仮設校舎の借上げ (1)設計3校 豊洲北小学校、有明小学校、第一亀戸小学校 (2)工事2校 第二辰巳小学校、浅間堅川小学校	学校施設課 学務課	重25
26	25	(仮称)第二有明小学校整備事業 ((仮称)第二有明小学校整備事業)	【取組】 人口急増の有明地区に新たな小学校を整備。 25年度は、地区整備計画・設計、用地確保に向け、東京都及び関連部署と調整を行った。 25～27年度 地区整備計画・基本設計・実施設計 28・29年度 工事 30年度 開校 【実績等】 25年度 新規事業	学校施設課 学務課	重24
27	25	(仮称)第二有明中学校整備事業 ((仮称)第二有明中学校整備事業)	【取組】 人口急増の有明地区に新たな中学校を整備。 25年度は、地区整備計画・設計、用地確保に向け、東京都及び関連部署と調整を行った。 25～27年度 地区整備計画・基本設計・実施設計 28・29年度 工事 【実績等】 25年度 新規事業	学校施設課 学務課	無
28	25	幼稚園保育室冷房化事業 (幼稚園保育室冷房化事業)	【取組】 夏季期間の保育環境を良好に保つための保育室冷房化工事。(17園) 第五砂町幼稚園 25年度改修工事で対応 みどり幼稚園 26年度改修工事で対応 第二亀戸幼稚園 27年度改築工事で対応	学校施設課	無
29	25	学校ICTモデル事業 (小・中学校コンピュータ教育推進事業)	【取組】 小・中学校各1校をモデル校として選定し、ICT教育の先進的取組を行う。 【実績等】 ・児童生徒用タブレット端末45台導入(1校あたり) ・各教室無線アクセスポイント整備 ・ICT支援員の巡回支援 【今後の展開】 26年度より実施する。 タブレット端末や電子黒板を利用した協同学習・個別学習を行うことで、授業の質の向上を図り、児童生徒の情報活用能力を育成する。 今後のICT教育、ICT環境のあり方を検討していく。	学指導課	無
30	25	区立幼稚園のサービス向上及び整備・適正配置	【取組】 25年度、区立幼稚園のあり方ワーキンググループを発足。 (1)幼稚園の保護者への預かり保育等のニーズ調査を行なった。 (2)ワーキンググループであり方の検討委員会発足の決定をし、準備を行なった。 【実績等】 ワーキンググループ内での検討結果、今後の区立幼稚園のサービス向上及び適正配置等を本格的に検討するための検討委員会を発足させることを決定。 【今後の展開】 26年度より検討委員会を発足させ、区立幼稚園の今後のサービス向上及び臨海部を含めた幼稚園整備や適正配置等の検討を図る。	学務課	無

No	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
〔 26年度 新規事業・レベルアップ事業 〕					
31	26	小学校通学路防犯カメラ設置事業 (学校安全対策事業)	【取組】 学校と地域等が連携をして行う登下校時の見守り活動を補完し、通学路における児童の安全確保の強化を図るため、都の補助金を活用し(1/2補助)、平成30年度までに全小学校の通学路に防犯カメラを設置する。 【実績等】 26年度 ・設置校数 :3校 ・カメラ台数:15台	庶務課	無
32	26	学校支援ボランティア推進協議会事業 (学校支援地域本部事業)	【取組】 地域全体で学校教育を支援する体制づくりを図り、地域住民が学校の様々な教育活動を支援する活動を推進する。 【実績等】 継続実施校 小学校 5校、中学校 2校 計 7校 新規実施校 " 6校、 " 2校 計 8校 累計 15校	学校支援課	主 20・43・60
33	26	教育に関する意識調査の実施 (教育委員会事務局運営事業)	【取組】 児童・生徒の保護者及び一般区民から、江東区の教育に対する意見や要望等を把握し、「教育推進プラン・江東」後期計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。 【実績等】 ・対象 :保護者2,000人、一般区民2,000人 合計4,000人 ・実施期間:平成26年12月上旬から下旬まで ・成果物 :平成27年3月「教育に関する意識調査報告書」を作成	庶務課	無
34	26	学びスタンダード強化講師の配置 (確かな学力強化事業)	【取組】 少人数学習講師及び学力強化講師の成果を継承するとともに、課題を改善し、26年度より完全実施となる「こうとう学びスタンダード」の定着を目指した「学びスタンダード強化講師」として整理統合し、制度の見直しを図った。 <配置基準> 小学校…国語・算数・体育の教科で、学級数に応じて週 60時間～120時間の配置 中学校…国語・数学・英語の教科で、各校一律 30時間の配置 【実績等】 26年度 全小学校にのべ 213人、全中学校にのべ 51人の講師を配置	学校支援課	重 1・4・5
35	26	学校力向上事業 (学校力向上事業)	【取組】 本区のこどもに確実に身に付けさせるスタンダードの定着度調査を実施し、結果は個票として児童生徒、保護者に還元。 【実績等】 26年度は全小中学校を対象に実施。	指導室	無
36	26	江東区俳句教育推進事業 (俳句教育推進事業)	【取組】 俳句講師の派遣の拡充。江東区立小・中学校俳句大会の開催及び俳句集の作成。 【実績等】 俳句講師派遣実績 小学校37校673時間、中学校3校20時間 第1回江東区立小・中学校俳句大会「きらり☆こうとう俳句祭」 平成27年2月21日(土)開催 江東区立小・中学校俳句集「きらり」第一集 推薦俳句総数 1,236句	学校支援課	無

No.	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
37	26	スクールカウンセラー派遣事業 (スクールカウンセラー派遣事業)	【取組】 区費スクールカウンセラーの小学校への配置校を増やし、不登校児童、生徒及びその家庭への支援を充実。 【実績等】 スクールカウンセラー配置校数:小学校 14校 中学校 6校	指導室	無
38	26	スクールソーシャルワーカー活用事業	【取組】 スクールソーシャルワーカーを新規に配置し、問題を抱える児童・生徒への決め細やかな支援を実施。 【実績等】 26年度は延べ137件、対応児童・生徒数は37人。	指導室	無
39	26	放課後子どもプラン事業 (放課後子どもプラン事業)	【取組】 放課後等に小学校を活用し、登録のある当該校の児童を対象とした遊びやスポーツ、文化活動等を実施。 放課後子ども教室と学童クラブを連携・一体的に実施する「江東きつずクラブ」の運営。 【実績等】 実施校数:直営8校、公設民営18校 26年度は、新たに5校で「江東きつずクラブ」を開設。	放課後支援課	重 27
40	26	児童館管理運営事業 (児童館管理運営事業)	【取組】 児童館の施設管理。 区立児童館 :14館 公設民営児童館:4館 【実績等】 26年度より、千田児童館において、4館目となる指定管理者制度を導入し、開館日数の増及び開館時間の延長等を実施。	放課後支援課	無
41	26	児童館の改修(改築)事業 (南砂児童館改修事業 他2件)	【取組】 1 南砂児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 21年度 実施設計 24年度 耐震補強工事 26年度 工事 2 小名木川児童館改修事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改修。 26年度 実施設計 29年度 工事予定 3 森下児童館改築事業 老朽化に伴う施設及び付帯設備の改築 25年度 実施設計 26、27年度 工事	放課後支援課	主 24

No	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
42	26	学校ICTモデル事業 (小・中学校コンピュータ教育推進事業)	【取組】 小・中学校各1校をモデル校として選定し、ICT教育の先進的取り組みを行う。 事業期間:26年9月～28年8月 【実績等】 小名木川小学校・深川第一中学校をモデル校に選定。 1校あたりタブレット端末45台導入。 教室に可搬式無線LANアクセスポイントを配備し、普通教室等におけるインターネットの接続や校内における学習コンテンツの共有を可能とした。 教員のICT機器活用能力向上のため、ICT支援員による研修や巡回支援を実施している。	学 指 務 導 課 室	無
43	26	学校施設の改築・改修事業 第二亀戸改築事業 他3件	【取組】 1 第二亀戸小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、幼稚園の改築:実施設計 竣工:27年度 2 第五大島小学校改築事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プールの改築:実施設計 竣工:30年度 3 小学校大規模改修事業 老朽化による校舎、屋内運動場、プール、外構改修等 (1)設計3校 小名木川小学校、南陽小学校、北砂小学校 (2)工事1校 第七砂町小学校 4 幼稚園大規模改修事業 老朽化による園舎等の大規模改修 (1)設計1園 南陽幼稚園 (2)工事1園 みどり幼稚園	学 校 施 設 課	重 25
44	26	収容対策に向けた学校の施設整備事業 豊洲北小学校増築事業 他4件	【取組】 1 児童数増加による教室不足解消のため、仮設校舎の借上げ (1)設計4校 南陽小学校、東雲小学校、有明小学校、北砂小学校 (2)工事2校 第一亀戸小学校、豊洲北小学校	学 校 施 設 課 学 務 課	重 25
45	26	(仮称)第二有明小学校 整備事業 (仮称)第二有明小学校整備事業	【取組】 人口急増の有明地区に新たな小学校を整備 25～26年度 地区整備計画・基本設計 27年度 実施設計 28～29年度 工事 29年度 竣工 【実績等】 26年度は実施設計者及び施工者を公募型プロポーザル方式で選定した。	学 校 施 設 課 学 務 課	重 24
46	26	(仮称)第二有明中学校 整備事業 (仮称)第二有明中学校整備事業	【取組】 人口急増の有明地区に新たな中学校を整備 25～26年度 地区整備計画・基本設計 27年度 実施設計 28～29年度 工事 29年度 竣工 【実績等】 26年度は実施設計者及び施工者を公募型プロポーザル方式で選定した。	学 校 施 設 課 学 務 課	無

No	年度	事業内容(事業名)及び予定	取組内容	担当	予算 No.
47	26	幼稚園保育室冷房化事業 (幼稚園保育室冷房化事業)	【取組】 夏季期間の保育環境を良好に保つための保育室冷房化工事。(18園) みどり幼稚園 26年度工事で対応 第二亀戸幼稚園 27年度改築工事で対応	学校施設課	無
〔プラン掲載外事業〕					
48		私立高等学校等入学資金の融資あっせん (私立高等学校等入学資金融資事業)	【取組】 1 私立高等学校等入学資金の融資あっせん 私立高等学校等への入学に際し必要な入学金、施設整備費用等の資金を区内金融機関へ融資あっせんする制度。 利用者はピーク時の昭和59年に166件で、融資額が6,950万円であった。最近10年間は10件台で推移するなど減少傾向である。同様の融資は他の公的制度や低金利な民間金融機関の教育ローンも多数あるため事業本来の必要性が低くなったと考えられる。このため、26年度をもって本制度を廃止する。 【実績等】 ・あっせん件数46件 ・融資件数15件 ・融資額585万円	庶務課	無
49		奨学資金の貸付 (奨学資金貸付事業)	【取組】 1 奨学資金の貸付 江東区内に在住する中学校3年生で都内または隣接県内の高等学校または高等専門学校へ進学を希望する生徒に対して奨学資金の貸付けを行う。 【実績等】 ・26年度貸付総額 3,548万6千円 学資金貸付額(年):公立 9万6千円 71人 私立33万6千円 88人 入学準備金貸付額:公立5万円 19人 私立10万円 18人	庶務課	無

(5)「教育推進プラン・江東」点検・評価まとめ

江東区の将来を担う「知・徳・体」のバランスを備えたこどもの育成の力強い推進

委員長 小川哲男（昭和女子大学特任教授）

学校・園はもとより保護者、地域住民により構成された「開かれた点検・評価委員会」では、教育推進プラン・江東に基づく教育施策の着実な進展とその成果が確認できた。

教育委員会の確かな施策の計画・策定と、行政、学校・園はもとより、地域、保護者が一体となった「江東のこども」を育てる施策の力強い推進の結果であり、大いに評価された。

特に、江東区の行政全体が教育を最も重視していることを評価者委員全員が確認できたことは素晴らしく、江東区民としての誇りである。

保護者にとって「わが子を江東区の学校に入れたい」という願い、こどもたちにとっては「江東区の学校に入りたい」と思える魅力的な学校づくりを推進してきた。このことは、江東区に生まれ育つことを誇りとし、江東区で生きていく区民の育成そのものである。

特に、本区では、小中学生が必ず身に付ける内容を示した「学び方」「体力」「国語」「算数」「数学」「英語」の6つのスタンダードに全校が取り組み、全力を挙げて指導の徹底を図り、その結果、学力も一段と向上したことは輝かしい成果である。

無論、体力の低下が指摘される中、「チーム江東・体力向上プロジェクト」に関わる研修会の実施や「こうとうこどもスポーツデー」への参加も大幅に増え、「オール小学校 長縄跳び大会」の記録も年々、向上していることから、こどもたちが心も体もたくましく育っていることを確認できた。まさに、江東区の将来を担う「知」「徳」「体」のバランスを備えたこどもの育成が着実に実現されている。

江東区は豊かな水と緑の中に、江戸の伝統文化が根付き、豊洲地区の新しさが加わり、今後の発展が大いに期待されている。

2020年には江東区を中心に東京オリンピック・パラリンピックが開催される。学力向上はもとより、江東区の伝統文化を尊重し、外国の方を温かくおもてなしのできる国際色豊かなこどもへの成長を期待している。

【 参考 】

教育推進プラン点検・評価委員会設置要綱

平成24年3月30日

23江教庶第3033号

(設置)

第1条 教育推進プラン・江東（以下「推進プラン」という。）の計画的な推進に資するため、教育推進プラン点検・評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 推進プランにおける施策の点検及び評価に関すること。
- (2) その他委員長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる教育長が委嘱する者をもって充てる。

- (1) 学識経験者
- (2) 公募により選任された区民
- (3) 区立小学校、中学校及び幼稚園の関係者
- (4) 区立小学校、中学校及び幼稚園に在籍する児童、生徒又は園児の保護者
- (5) その他教育長が必要と認める者

3 委員長は、委員の互選により選出する。

4 副委員長は、委員の中から委員長が定める。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱した日から当該年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(運営)

第5条 委員長は、委員会を招集し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、又は

他の方法で意見を聞くことができる。

(専門部会)

第6条 委員長は、必要に応じて、専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、委員長から付託された事項について、調査研究する。

3 専門部会の部会員は、委員長が指名する。

4 専門部会の部会長は、部会員が互選により選出する。

5 専門部会の部会長は、必要に応じて専門部会を招集し、会務を総理する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局庶務課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

教育推進プラン・江東に関する点検評価（平成２７年度江東区教育委員会の
権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書）

平成２７年９月

印刷番号（２７）４８号

編集発行

江東区教育委員会事務局庶務課

江東区東陽４－１１－２８

電話（３６４７）９１１１（大代表）

印刷所

エビス印刷工業株式会社

江東区清澄３－９－１０

電話（３６４１）８０１４